

県医労新聞

2009年2月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

佐々木 茂 喜

毎月1回発行 1824号(月刊39号)



2009.1.17~18 青年部スキー・スノーボード交流会(安比高原スキー場)

目次

- 1P 医療局長にレッドカード
- 2P 時差出勤・2交代
アンケート結果
- 3P 無床化反対!地域説明会
- 4P 青年部ニュース
- 5P 女性部ニュース
- 6P つぶやき
11月、12月パズル当選者
岩手医労連女性労働学校
- 7P 職場川柳 懸賞パズル
2、3月の予定
国際女性デーのお知らせ
3月の予定



ディナーバイキングで
お腹いっぱい、大満足!



田村医療局長にレッドカード!!

退場

私たちがこれ以上苦しめないでください!



諸手当の廃止、
5時間時差出勤、
二交代勤務導入、
絶・対・反・対!

岩手県医療局長 田村均次 様

統一要求書への回答は、私たちの切実な要求に聞く耳を持たないかのような、ゼロ回答でした。さらに突然の病院業務手当、早出手当、調整額の廃止提案は、県立病院に働く多くの職員の懸命に働いている姿が理解されず、とても残念です。また5時間もの時差勤務、二交代勤務の導入は、私たちの健康を破壊し、家庭生活を困難にします。

については、私たちの職場実態にどうぞ耳を傾けて下さい。

〈レッドカードの一部を紹介します〉

毎日毎日残業…。朝も早出の6時出勤があります。患者様の重要度は叫ばれていますが、年々重症患者が増えるのに、看護師はどうして増えないのでしょうか。これでは守り切れません。

中央支部

時差出勤、二交代勤務は今より身体の負担が多いと思われるので、やめて欲しい。身体がつかると長く続けられないと思う。そういった事も考えて欲しい。なぜ、必要なのでしょう。

久慈支部

「県下にあまねく良質な医療の均てんを」という県立病院の理念はどこにいったのでしょうか。誰のための政策なのか。医療局長は県民（患者）を守るべき立場だと思うのですが？現場の、患者の声を聞いていますか？家族を犠牲にして働いている職員の声を聞いていますか？私たちがこれ以上苦しめないで下さい。

北上支部

こんなに女性が多い職場なのに、出産・育児に安心して休むことができない職場では、働きたいと思う若い人が来ないと思う。

一戸支部

二交代勤務や5時間の時差勤務を導入した場合、職員数は増やしていただけるのでしょうか？これ以上、職場の悪化を招かないでください。もっと現場の声を傾けてください。絶対に反対です。

磐井支部

人員が少なく、休みたい時に休むことができません。子どもの具合が悪い時やワクチン接種でさえ、休みづらいことが何度もあります。そんな中で仕事に対する意欲を持ち続けて働いてきました。今回の手当カットは、ますますストレスを抱えるだけでなく、働く意欲までも奪い取る行為です。働く意欲までも奪い取らないでください。

花泉支部

国言いなりに県立病院の黒字を最優先にする姿勢を一層強めたことが全てにつながることだ！県立病院は誰のためにあるのか、公立病院の役割は何か。局長、もう一度大きく目を開けてください。

大東支部

子どもの寝顔しか見られない毎日は嫌です。

二戸支部

どうぞ一度、私たちが働く病院を見学いらして下さい。できれば24時間。夜の勤務では5分、10分で立ちながら、おにぎりを食べて、休憩は取れません。田村局長様、職場実態をどうかご自分の目で確かめて下さい。私たちはギリギリまで頑張っているつもりです。

釜石支部

生活があるから働いている。守るべき生活を苦しめるだけの勤務では、何のために働いているのか分からなくなってしまいます。

南光支部

今でも家に帰ってからの仕事が出来ないくらい身体が疲れています。これ以上に時間の不規則などがプラスになれば、医療ミスにつながりかねません。自分の健康維持が患者さんへの安全な医療の提供につながると思っています。人数がいれば、規則にあっていればいいだけの職場にはしないで下さい。みんなが笑顔で働ける場所にして下さい。

胆沢支部

これ以上、仕事で苦しめない下さい。忙しくても楽しく働けた昔の職場を返して下さい。家庭は崩壊寸前です。仕事と家庭が両立できる場所に!!

大船渡支部

自分の生活を犠牲にして一日16時間近くも病院にいる生活。毎日毎日と言うより、1分毎にもやめたいと思う現状です。

千厩支部

私たちは小さな子どもを抱えながら働いています。子どもたちはどうすれば良いのですか？保育園に預ければいいといった問題ではありません。

花巻厚生支部

時差勤務・2交代アンケート集計 (22支部1307名回答)

1. 5時間までの時差勤務についてどう思うか？

- ①反対 …………… 753 (57.6%)
- ②どちらとも言えない …………… 337 (25.8%)
- ③反対だが仕方がない …………… 124 (9.5%)
- ④無回答 …………… 49 (3.7%)
- ⑤賛成 …………… 44 (3.4%)

2. 2交代勤務についてどう思うか

- ①反対 …………… 917 (70.2%)
- ②どちらとも言えない …………… 260 (19.9%)
- ③反対だが仕方がない …………… 56 (4.3%)
- ④賛成 …………… 51 (3.9%)
- ⑤無回答 …………… 23 (1.8%)

3. 今回の案が導入されたらどうなるか？

(複数回答可、上位6番まで)

- ①疲れがたまる …………… 992 (25.1%)
- ②医療事故が増える …………… 788 (19.9%)
- ③働きにくくなる …………… 654 (16.6%)
- ④魅力のない職場になる …………… 390 (9.9%)
- ⑤定年まで働けない …………… 538 (13.6%)
- ⑥残業が増える …………… 265 (6.7%)

4. 医療局に行って欲しい事はなんですか？

(複数回答可、上位6番まで)

- ①大幅増員 …………… 975 (38%)
- ②人事考課・査定昇給の撤廃 …… 481 (18%)
- ③勤務形態の見直し …………… 319 (12%)
- ④施設設備の充実 …………… 239 (9%)
- ⑤累積赤字の解消 …………… 211 (8%)
- ⑥地域住民との懇談 …………… 171 (6%)

5. 一番やめて欲しいこと、無駄だと思う事

- ・ 2交代。これ以上長時間勤務では、事故やヒヤリハットが増えるし疲れもたまる。
- ・ 手当のカットはやめて欲しい。働く意欲の低下につながる。
- ・ 時差出勤、人事考課、多すぎる委員会、会議、電子カルテ、機能評価、時間外の研修。
- ・ 最低人員での7：1看護。有給とれず、人事もメチャクチャ。育児時間、部分休業申請しても帰れない。フルタイムに負担が大きすぎる。
- ・ 7：1の外来の体制。7：1の入力作業。
- ・ NANDA。ケアに回れなくなった
- ・ 意味のない転勤
- ・ 時差出勤。夜勤の人数を増やしてくれないから仕方なくやっている。
- ・ 人員不足
- ・ 人事考課。スタッフのやる気がなくなる。
- ・ 電子カルテ。確認作業が多く超勤になっている。
- ・ 無床化

6. その他

- ・ なりたくてなりたくて夢見たナースの仕事も、最近は生活のために働いているのに過ぎません。
- ・ 時差勤務ではなく夜勤の人数を増やして欲しい。
3交代で8時間、水も飲めずに走りっぱなしなのに、16時間では、身が持たない。
- ・ からだがポロポロになり、医療事故を起こしそうなので、絶対反対
- ・ 健康破壊。家族のリズムも今以上に乱れる。モチベーションもさらに下がる。
- ・ 7：1になって、年次が取れなくなった。
患者と接する時間がなく、働く意欲が低下する。
- ・ 忙しくて、余裕がない。求められるものばかり多い。やりがいがない。
- ・ 休憩時間を元に戻して欲しい。
- ・ 業務以外の仕事が多い。
- ・ 子育てしながら、業務していけません。もう限界です。
- ・ 超勤が多くて疲れる。超勤を書きにくい。
- ・ 人員増員して欲しい。 職員の疲労がピーク。
家族の負担が大きい。疲れが取れない。
- ・ 年次が取れない。年次がほしい。



世のこもった看護がしたい

**職員の悲鳴にも似た怒りの声が続々。
全ては載せきれませんでしたので、その他は中央委員会議案書をご覧ください。**

無床化計画は許せない! 説明会で地域住民が反対アピール

花泉



九戸



住田



岩手町



昨年11月17日、いきなり5地域・1病院の無床化計画が発表されました。県医労では、地域のみなさんと協力し、無床化反対の県議会請願を行い、採択させました。しかし、達増知事は「医療局の案がベストだ」「住民に説明が必要だ」などととし、県議会、県民の意思である請願採択を軽視し、1月9日から地域説明会を強行。しかし、写真のように、全ての会場が無床化反対の住民でいっぱいとなり、横断幕、プラカードなども準備され、地域をあげて無床化に反

対であることが確認される場となりました。住田町の説明会では、会場の中ホールがいっぱいになり、第四会場まで人があふれました。しかし、医療局では各地域の主だった人による「懇談会」を開催し、さらに無床化への理解を得たい、と地域を回っています。写真左上から、花泉地域（1月9日）、九戸地域（1月13日）、住田地域（1月14日）、岩手町（1月15日）、大迫地域（1月16日）、紫波地域（1月19日）。

大迫



紫波



日頃の疲れとストレスを発散！

スキー・スノーボード交流会in APPI



滑る前の準備運動~(^o^)

来年も開催する予定ですので青年部の皆さん、参加ヨロシク！

翌日は天気にも恵まれ、スキーやスノーボード・スノーモビルを満喫し、日頃のストレスを発散することが出来たようです。

夜の交流会は落ち着いた雰囲気のパールバーで行われ、美味しい料理やお酒、ビンゴゲームなどで交流を深めました。

毎年恒例となっているスキー・スノーボード交流会を1月17、18日に安比高原「ホテル安比グランド」で開催し、12支部30名が参加しました。



交流会では、ゆったりとくつろいだ時間を過ごしました。



来年も
企画するので
参加してね~!



男だけで寂しく、ゴンドラで移動中

第53回はたらく女性の集会 ホンネで語り、つながろう!



中央集会は10月25・26日、東京で開催され、二日間で延べ770人が参加しました(県医労からは2名)。全体会では伊勢崎賢治さん(東京外語大学院教授)が講演。国連スタッフとして、また、日本政府のスタッフとして、アフガニスタンなど中東

中央集會
9条を持つ国としての責任を



の紛争解決に関わった体験から、援助や予防策について話し、自衛隊が国外に出るとはどのような事なのかを考え、9条を持つ国として、日本は平和を守る責任があると結びました。二日目は、女性の健康、女性と貧困、裁判員制度、食糧問題、平和などの分科会に分かれ、学習し、意見交換をしました。来年は神戸で開催されます。

岩手県集会

女性が運動の先頭に立って

上/中央集會全体會 下/都内をパレード

イフバランスを重点に、権利の充実や男性の育児休業取得率の向上、女性が平和運動の先頭に立って行動することが提起されました。職場交流では公務員、農協、給食、保育、医療の職場から報告。柴田さんは「本音で話せるのは女性。みんなと繋がれる充実感がある。ホンネで語り、繋がっていいこう」と呼びかけました。

11月22日、岩手県民会館で開催された岩手県集會には、県内から55名が参加、県医労からは6支部・本部10名が参加しました。夫婦デュオ「パートタイム」のミニコンサート



講演する柴田真佐子さん(全労連女性部長)

つづき

国は給付金と称しているお金をいづくれるのでしょうか。給付金ではない。国民への返済金である。国民から集め尽くしたお金である。お上が下民に捧げるような表現は大変不快である。元々は国民の納めたもの、そう思いませんか？

中央支部

ファンタジー疲れすぎ花子

日本は一体どうなるんでしょう。リストラの嵐が吹きまくり、年が越せるかと不安でいっぱい。国会議員さん達は庶民の切実さをちっともわかっていない。年末なんて言っちゃられない。明日どうしようかです。

中央支部 チャピーママ

妹の夫がオバマ大統領に似てると思った私。その理由を「日本人離れた顔だ

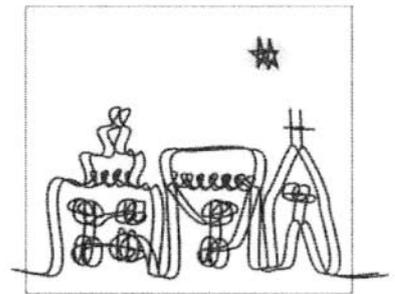
から」と言おうとして、間違って「人間離れた顔だから」と言ってしまった（><）ごめん！

中央支部 クッキーママ

今年もあちこちでヒカリのファンタジーなる催しをやっていますなあ。4年くらい前に仙台の光のページェントを友人と見に行ったことがあります。田舎者の小生には

別世界にいるようでした。また行きたいと思います。

一戸支部 越冬カメ虫



11、12月号パズル 当選者発表

11月号パズル「まちがいは7つ」には27名、12月号には19

名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、各月、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

11月号当選者(敬称略)

赤ずきん(久慈支部)、まんの妻、匿名希望、匿名希望(以上、中央支部)、のりお(花巻厚生支部)、望(宮古支部)

12月号当選者(敬称略)

おでんくん(以上、胆沢支部)、チャピーママ(磐井支部)、ドスコイ王子(千厩支部)、初雪(大東支部)、匿名希望(大船渡支部)

岩手医労連第50回女性労働学校

と き:2月28日(生)10時から ところ:国保会館



マーブルアート

- 10:30~ 講座①「マーブルアート」(講師:高橋和子さん)
- 講座②「健康づくり講座」(講師:医療生協)
- 講座③「地域医療の充実を」(講師:県医労)

- 13:00~ 講演「女性たち 今あなたの出番です。人がらしく生きられる社会をつくろう!」
- 講師 淀 房子さん
(前全医労副委員長・中央労働委員)

誘い合って、ご参加を!

2009年 国際女性デー岩手県集会

～なくそう！貧困
輝かせよう！世界の宝・憲法9条～

とき 2009年3月7日(土) 13:30～15:30
ところ 盛岡市勤労福祉会館

記念講演

講師

後藤宣代さん

東日本国際大学福祉環境部 及び
福島県立医科大学医学部 非常勤講師



職場川柳

- 権利です ベッド無くすな この声は (憲法学者)
- 今、生きる 医療・福祉 あつてこそ (医療は命)
- 焼酎を ちよつとガマンし 説明会 (無関心ではいられない)
- ひよつとして 結果が先の 出来レース？ (予想屋)
- 住民の 熱意呼び覚ます 知事暴言 (温故知新)

2月の予定

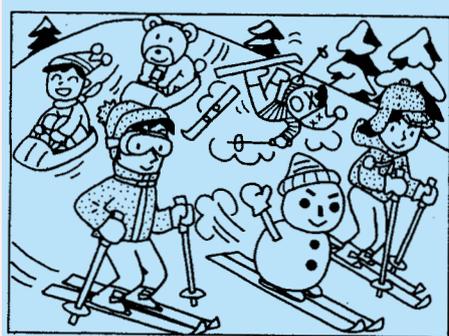
- 1日(日) いわて労連囲碁・将棋大会(高校会館)
- 7日(土)～8日(日)
東北地方協春闘討論集会(松島)
- 13日(金) 岩手医労連精神部会
- 14日(土)～15日(日)
岩手医労連青年部ウィンターアクト
(八幡平)
- 18日(水) 拡大闘争委員会(エスポワールいわて)
- 21日(土) 川口さんを偲ぶ会(ニューウイング)
- 24日(火) 看護部会(県民会館)
- 27日(金) 第1次統一行動・早朝集会
春闘要求書提出

3月の予定

- 1日(日) ビキニデー
- 7日(土) 県民総決起集会(県公会堂)
国際女性デー県集会
- 20日(祝) 拡大闘争委員会

懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つ
の間違い箇所の印をつけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で10名の組合員に記念
品を送ります。送り先は
〒02010023 盛岡
市内丸11-1、県医労「懸賞
パズル」係まで。締切は2月
末日(必着)です。また、抽選
には関係ありませんが、ハ
ガキの余白に「つぶやき」



まちがいは7つ 羽月桂子



(職場の話題など何でも)
を、ぜひ一言お書き下さい。
県医労新聞で紹介する場合
がありますので、匿名希望
の場合には、その旨を書い
て下さい(ペンネーム可)。
ただし、当選した場合は、記
念品の送り先が必要となり
ますので、支部名・本名の
記入もお忘れなく！